

透析情報標準規格 HL7 FHIR 記述仕様

Ver. 1.00

一般社団法人日本透析医学会

改訂履歴

日付	内容
2023/12/04	初版 Ver1.00

目次

本仕様書の位置づけ	5
本書の表記法	6
① 名称の表記	6
② 表現	6
③ データ項目表の表記	7
1. ドキュメント構造	9
① 透析情報標準化バンドル（プロファイル名: JP_Bundle_Dialysis）	10
② 透析情報標準化コンポジション（プロファイル名: JP_Composition_Dialysis）	12
2. 施設情報	15
① 医療施設（プロファイル名: JP_Organization_Dialysis）	15
② 医療従事者（プロファイル名: JP_Practitioner_Dialysis）	17
3. 患者情報	18
① 患者（プロファイル名: JP_Patient_Dialysis）	18
② 血液型 ABO（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_BloodTypeABO）	21
③ 血液型 Rh（プロファイル名: JP_Dialysis_BloodTypeRh）	22
4. 診療情報	23
① 透析導入日（プロファイル名: JP_Dialysis_Introduction）	23
② 禁忌薬（プロファイル名: JP_AllergyIntolerance_Dialysis_ContraindicationMedicine）	24
③ アレルギー（プロファイル名: JP_AllergyIntolerance_Dialysis）	25
④ ADL（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_ADL）	26
⑤ 感染症(HBsAg)（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_HBsAg）	27
⑥ 感染症(HBsAb)（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_HBsAb）	28
⑦ 感染症(HBcAb)（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_HBcAb）	29
⑧ 感染症(HBV DNA)（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_HBVDNA）	30
⑨ 感染症(HCV Ab)（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_HCVAb）	31
⑩ 感染症(HCV RNA)（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_HCVRNA）	32
⑪ 感染症(HIV Ab)（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_HIVAb）	33
⑫ 糖尿病有無（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_Diabetes）	34
⑬ 原疾患（プロファイル名: JP_Condition_Dialysis_PrimaryDisease）	35
⑭ CTR（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_CTR）	36

5. 透析条件	37
① 処置（プロファイル名: JP_Procedure_Dialysis_Treatment）	37
② サービスリクエスト（プロファイル名: JP_ServiceRequest_Dialysis）	38
③ 血液透析（プロファイル名: JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis）	39
④ バスキュラーアクセス手術（プロファイル名: JP_Procedure_Dialysis_VascularAccess）	43
⑤ 最終 PTA（プロファイル名: JP_Procedure_Dialysis_LastPTA）	44
⑥ 投与薬剤（プロファイル名: JP_MedicationAdministration_Dialysis_Medication）	45
⑦ 前回終了時体重（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_LastBodyWeight）	47
⑧ 透析機器（プロファイル名: JP_Device_Dialysis）	48

本仕様書の位置づけ

この仕様書は、HL7 FHIR（以下、FHIR という。）に準拠した透析情報標準規格の仕様を記述した文書であり、令和4年～5年度厚生労働行政推進調査事業費補助「透析情報の標準規格開発並びに透析診療施設間の連携を支援する標準化に関する研究」（課題番号22IA2013）（以下、厚生労働科学研究という。）の成果物を、その研究班員ならびに研究協力者が作成し、編集したものである。

本仕様は、JP CORE ならびに FHIR R4 に基づいている。JP CORE の改訂、拡張に伴い、本 FHIR 記述仕様は改版されることがある。なお、システム実装に関わる FHIR 実装ガイド(FHIR Implementation Guide) は、次のサイトを参照していただきたい。

参照先：<http://healthinfo-std.jp/>

厚生労働科学研究班員ならびに研究協力者

研究班員

菊地 勘	医療法人社団豊済会下落合クリニック、一般社団法人日本透析医学会
宮崎 真理子	東北大学大学院医学系研究科腎・高血圧・内分泌学分野、一般社団法人日本透析医学会
山川 智之	公益社団法人日本透析医会
長沼 俊秀	大阪公立大学医学部附属病院人工腎部
峰島 三千男	順天堂大学医療科学部臨床工学科
岡田美保子	一般社団法人医療データ活用基盤整備機構（IDIAL）、研究代表者

研究協力者

青木 美和	東京大学大学院医学系研究科博士課程在学、IDIAL 研究員
-------	-------------------------------


研究協力者(工業会)

一般社団法人日本医療機器テクノロジー協会(MTJAPAN)	
岡谷 紀和	(ニプロ株式会社)
青島 正浩	(日機装株式会社)
一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS)	
電子カルテ委員会	太田 聡司 (富士通 Japan 株式会社)
部門システム委員会	根来 秀明 (株式会社ノーザ)

HL7 FHIR 記述仕様策定・編集協力者

長瀬 嘉秀	株式会社テクノロジーアート社
木村 雅彦	一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会 相互運用性委員会
塩川 康成	一般社団法人日本 IHE 協会
株式会社テクノロジーアート社	
株式会社 SBS 情報システム社	

データ項目表の表記

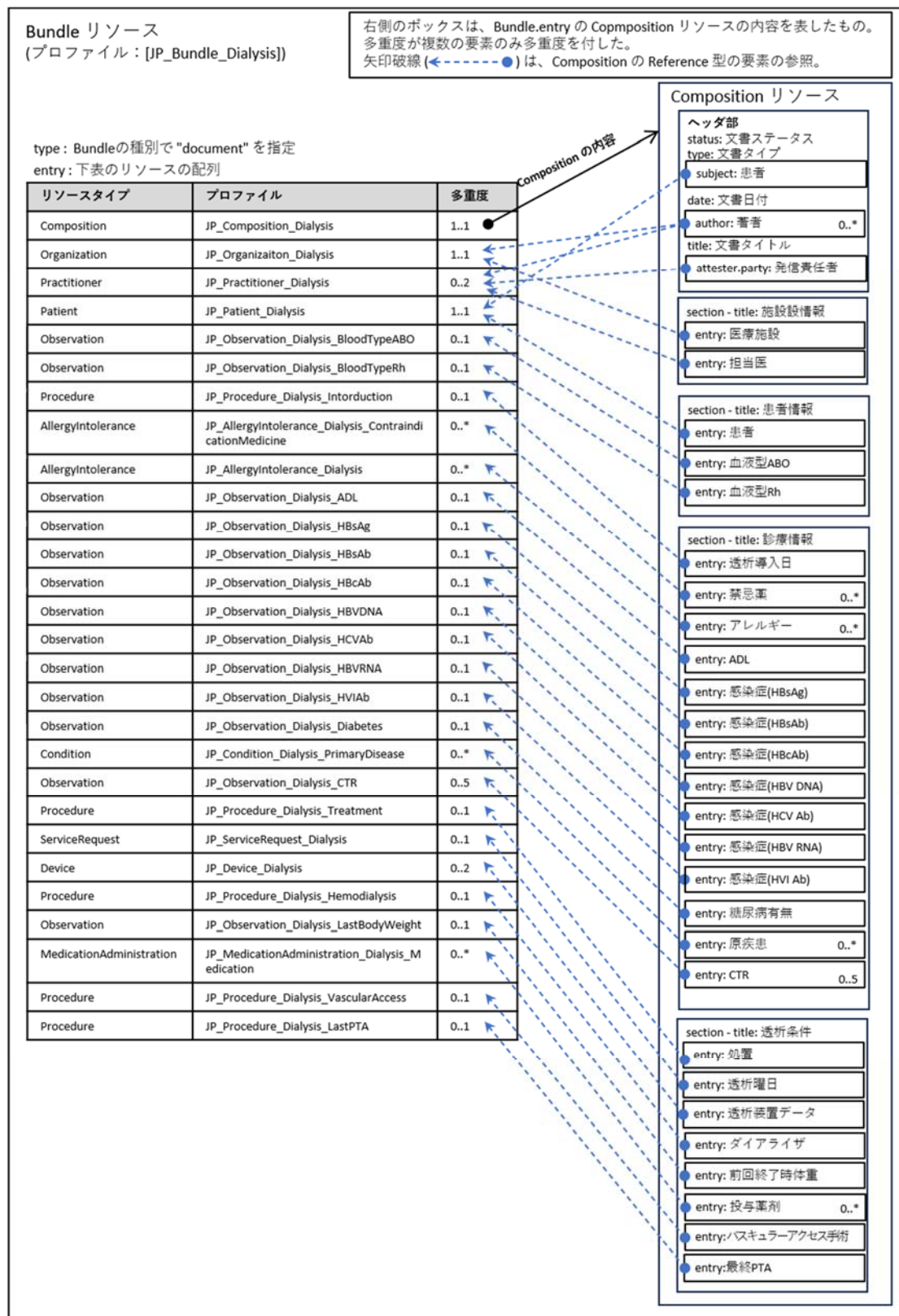
項目	説明
データ項目	<p>要素の値が対応する透析情報標準規格 HL7 FHIR 記述仕様の補足資料『透析情報標準データ項目 Ver1.0』のデータ項目の名称を表記している。</p> <p>インデント無しは、各カテゴリー（医療施設情報、患者情報、診療情報、透析条件）の次のレベルである項目名でインデント有は、項目名の次のレベルである細項目名。</p> <p>データ項目が空白の場合、それらの要素はデータ項目とは対応しないが、データ項目のルールとして必要な要素であるか、リソースの必須項目である。</p> <p>例） Observation リソースの status と code は必須。subject はどの患者の Observation であるかを保持するために必要。</p>
FHIR 要素	<p>プロファイルの要素名を表記している。</p> <p>下のレベルへの展開は表記していない。</p> <p>フォーマットは、FHIR 実装ガイドの Logical table に準じている。</p> <p>要素名[:スライス名[/サブスライス名]]</p> <p>リソース記述を行う場合は、スライス名とサブスライス名は不要であるが、リソースがプロファイルのルールと合致しているかどうかを検査することを目的としている。</p> <p>例） pr[JP_Organization_Dialysis]のエクステンションのスライス</p>  <p>実装ガイドでは、[Organizaton.extension]がスライスされており、その一つのスライス名が [prefecureNo] である。</p> <p>リソース記述で、この個所は、次の通りスライス名は不要。</p> <pre> }, "extension" : [{ "url" : "http://jpfhir.jp/fhir/core/Extension/StructureDefinition/JP_Organization_PrefectureNo", "valueCoding" : { "system" : "urn:oid:1.2.392.100495.20.3.21", "code" : "27", "display" : "大阪府" } }], </pre>

FHIR 要素タイプ	<p>要素のタイプを表記している。</p> <p>Reference の場合は、続く () 内に参照可能なターゲットとなるリソースタイプを記述している。</p> <p>フォーマットは、FHIR 実装ガイドの Logical table に準じている。</p>
多重度	<p>要素の多重度を表記している。</p> <p>フォーマットは、FHIR 実装ガイドの Logical table に準じている。</p>
説明	<p>要素の値の指定および設定の説明を記している。</p> <p>下位レベルの要素に対する設定がある場合、トップの要素を“-”として省略している。</p> <p>例: [-.coding.system]</p>

1. ドキュメント構造

透析情報標準規格で送受信されるドキュメントは、FHIR の[Bundle]により構成する。

図 1-1



透析情報標準化バンドル（プロファイル名：JP_Bundle_Dialysis）

[JP_Bundle_Dialysis]は、[Bundle]を基に透析情報標準規格で定義されたプロファイルであり、透析情報標準規格で定義されたデータ項目のリソースを[-.entry]の配列として取り扱う。

バンドルのタイプは、“document”であり、1番目のエントリーは[JP_Composition_Dialysis]によりルール化された[Composition]リソースとなる。

2番目以降のエントリーは、本仕様書の2章以降の各リソースを保持する。

[Composition]リソースを含め各エントリーにはUUID（Universally Unique Identifier）を付番し、[-.entry.fullUrl]に設定し、[-.entry.resource]にリソース本体を設定する。

表 1-① 透析情報標準化バンドルのデータ項目

FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
type	code	1..1	バンドルのタイプ。 [type]に vs[BundleType]のコード値#document を指定する。
entry:composition	BackboneElement	1..1	コンポジション [-.resource]は、JP_Composition_Dialysis のリソース
entry:organization	BackboneElement	1..1	医療施設 [-.resource]は、JP_Organization_Dialysis のリソース
entry:practitioner	BackboneElement	0..2	医療従事者 [-.resource]は、JP_Practitioner_Dialysis のリソース
entry:practitioner/attendingPractitioner	BackboneElement	0..1	担当医
entry:practitioner/responsibleSender	BackboneElement	0..1	発信責任者
entry:patient	BackboneElement	1..1	患者 [-.resource]は、JP_Patient_Dialysis のリソース
entry:bloodTypeABO	BackboneElement	0..1	血液型 ABO [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_BloodTypeABO のリソース
entry:bloodTypeRh	BackboneElement	0..1	血液型 Rh [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_BloodTypeRh のリソース
entry:introduction	BackboneElement	0..1	透析導入日 [-.resource]は、JP_Procedure_Dialysis_Introduction のリソース
entry:contraindicationMedicine	BackboneElement	0..*	禁忌薬 [-.resource]は、JP_AllergyIntolerance_Dialysis_ContraindicationMedicine のリソース
entry:allergyIntolerance	BackboneElement	0..*	アレルギー [-.resource]は、JP_AllergyIntolerance_Dialysis のリソース
entry:adl	BackboneElement	0..1	ADL [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_ADL のリソース
entry:HBsAg	BackboneElement	0..1	感染症(HBsAg)検査 [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_HBsAg のリソース
entry:HBsAb	BackboneElement	0..1	感染症(HBsAb)検査 [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_HBsAb のリソース
entry:HBcAb	BackboneElement	0..1	感染症(HBcAb)検査 [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_HBcAb のリソース
entry:HBVDNA	BackboneElement	0..1	感染症(HBVDNA)検査 [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_HBVDNA のリソース
entry:HCVAb	BackboneElement	0..1	感染症(HCVAb)検査 [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_HCVAb のリソース

entry:HBVRNA	BackboneElement	0..1	感染症(HBVRNA)検査 [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_HBVRNA のリソース
entry:HIVAb	BackboneElement	0..1	感染症(HIVAb)検査 [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_HIVAb のリソース
entry:diabetes	BackboneElement	0..1	糖尿病有無 [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_Diabetes のリソース
entry:primaryDisease	BackboneElement	0..*	原疾患 [-.resource]は、JP_Condition_Dialysis_PrimaryDisease のリソース
entry:ctr	BackboneElement	0..5	CTR [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_CTR のリソース
entry:treatment	BackboneElement	0..1	処置（血液透析、バスキュラーアクセス、PTA の上位処置） [-.resource]は、JP_Procedure_JP_Procedure_Dialysis_Treatment のリソース
entry:serviceRequest	BackboneElement	0..1	サービスリクエスト（処置のオーダー） [-.resource]は、JP_ServiceRequest_Dialysis のリソース
entry:device	BackboneElement	0..2	医療機器の親スライス
entry:device/hemodialysisMachine	BackboneElement	0..1	透析装置 [-.resource]は、JP_Device_Dialysis のリソース
entry:device/dialyzer	BackboneElement	0..1	ダイアライザ [-.resource]は、JP_Device_Dialysis のリソース
entry:hemodialysis	BackboneElement	0..1	血液透析処置 [-.resource]は、JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis のリソース
entry:lastBodyWeight	BackboneElement	0..1	前回終了時体重 [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_LastBodyWeight のリソース
entry:medication	BackboneElement	0..*	投与薬剤 [-.resource]は、JP_MedicationAdministration_Dialysis_Medication のリソース
entry:vascularAccess	BackboneElement	0..1	バスキュラーアクセス手術処置 [-.resource]は、JP_Procedure_Dialysis_VascularAccess のリソース
entry:lastPta	BackboneElement	0..1	最終 PTA 処置 [-.resource]は、JP_Procedure_Dialysis_LastPTA のリソース

透析情報標準化コンポジション（プロファイル名: JP_Composition_Dialysis）

[JP_Composition_Dialysis]は、[Composition]を基に透析情報標準規格で定義されたプロファイルである。

[JP_Composition_Dilaysis]リソースは、[JP_Bundle_Dialysis.entry]の1番目のエントリーとなり、透析情報標準規格のドキュメントの構成を定義し、各構成の内容に対応する2番目以降の各リソースへの参照を取り扱う。バンドルが保持している各リソースへの参照の設定は、[Bundle.entry.fullUrl]に設定されたUUIDを[-.section.entry.reference]に設定し、[Bundle.entry.resource]のリソースを定義しているURIを[-.section.entry.type]に設定する。

表 1-② 透析情報標準化コンポジションのデータ項目

FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
status	code	1..1	コンポジションのステータス [status]に vs[JP_CompositionStatus]から選択したコード値を設定する。
type	CodeableConcept	1..1	文書のタイプ LOINC を仮使用 [-.coding.system]に LOINC の URL(http://loinc.org)を指定する。 [-.coding.code]に vs[FHIRDocumentTypeCodes]のコード値 # 29749-9 を指定する。 [-.coding.display]に選択したコードの表示値の“Dialysis records”を指定する。
subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	患者の参照 [-.reference]に、[JP_Bundle_Dialysis.entry:patient.fullUrl]を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を設定する。
date	dateTime	1..1	文書作成日付 [date]に文書を作成した日付を設定する。
author	Reference(JP_Diaplysis_Practitioner or JP_Organization_Dialysis)	1..*	文書作成者
title	string	1..1	文書タイトル
attester	BackboneElement	1..1	発信責任情報 [-.mode]に vs[JP_CompositionAttestationMode]から選択したコード値を設定する。 [-.party.reference]に [JP_Bundle_Dialysis.entry:practitioner/responsibleSender.fullUrl]の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Practitioner_Dialysis]の URI を設定する。
section:medicalFacility	BackboneElement	1..1	医療施設情報セクション
section:medicalFacility.entry:organization	Reference(JP_Organization_Dialysis)	1..1	医療施設
section:medicalFacility.entry:practitioner	Reference(JP_Practitioner_Dialysis)	0..1	担当医 発信責任者は、[attester.party]。
section:patient	BackboneElement	1..1	患者情報セクション
section:patient.entry:patient	Reference(JP_Patient_Dialysis)	1..1	患者の参照

section:patient.entry:bloodType/abo	Reference(JP_Observation_Dialysis_BloodTypeABO)	0..1	血液型 ABO の参照
section:patient.entry:bloodType/rh	Reference(JP_Observation_Dialysis_BloodTypeRh)	0..1	血液型 Rh の参照
section:disgnosis	BackboneElement	0..1	診療情報セクション
section:disgnosis.entry:introduction	Reference(JP_Procedure_Dialysis_Introduction)	0..1	透析導入の参照
section:disgnosis.entry:contraindicationMedicine	Reference(JP_AllergyIntolerance_Dialysis_ContraindicationMedicine)	0..*	禁忌薬の参照
section:disgnosis.entry:allergyIntolerance	Reference(JP_AllergyIntolerance_Dialysis)	0..*	アレルギーの参照
section:disgnosis.entry:adl	Reference(JP_Observation_Dialysis_ADL)	0..1	ADL の参照
section:disgnosis.entry:infection/hbsag	Reference(JP_Observation_Dialysis_HBsAg)	0..1	感染症(HBsAg)検査の参照
section:disgnosis.entry:infection/hbsab	Reference(JP_Observation_Dialysis_HBsAb)	0..1	感染症(HBsAb)検査の参照
section:disgnosis.entry:infection/hbcab	Reference(JP_Observation_Dialysis_HBcAb)	0..1	感染症(HBc Ab)検査の参照
section:disgnosis.entry:infection/hbvdna	Reference(JP_Observation_Dialysis_HBVDNA)	0..1	感染症(HBV DNA)検査の参照
section:disgnosis.entry:infection/hcvab	Reference(JP_Observation_Dialysis_HCVAb)	0..1	感染症(HCV Ab)検査の参照
section:disgnosis.entry:infection/hbvrna	Reference(JP_Observation_Dialysis_HBVRNA)	0..1	感染症(HBV RNA)検査の参照
section:disgnosis.entry:infection/hivab	Reference(JP_Observation_Dialysis_HIVAb)	0..1	感染症(HIV Ab)検査の参照
section:disgnosis.entry:diabetes	Reference(JP_Observation_Dialysis_Diabetes)	0..1	糖尿病有無の参照
section:disgnosis.entry:primaryDisease	Reference(JP_Condition_Dialysis_PrimaryDisease)	0..*	原疾患の参照
section:disgnosis.entry:ctr	Reference(JP_Observation_Dialysis_CTR)	0..5	CTR の参照
section:condition	BackboneElement	0..1	透析条件セクション
section:condition.entry:treatment	Reference(JP_Procedure_JP_Procedure_Dialysis_Treatment)	0..1	上位処置の参照
section:condition.entry:serviceRequest	Reference(JP_ServiceRequest_Dialysis)	0..1	サービスリクエストの参照（透析曜日のため）
section:condition.entry:device/hemodialysisMachine	Reference(JP_Device_Dialysis)	0..1	透析装置の参照
section:condition.entry:device/dialyzer	Reference(JP_Device_Dialysis)	0..1	ダイアライザの参照
section:condition.entry:lastBodyWeight	Reference(JP_Observation_Dialysis_LastBodyWeight)	0..1	前回終了時体重の参照

section:condition.entry:medication/esa	Reference(JP_MedicationAdministration_Dialysis_Medication)	0..*	投与薬剤／ESA の参照
section:condition.entry:medication/vitaminD	Reference(JP_MedicationAdministration_Dialysis_Medication)	0..*	投与薬剤／ビタミン D 製剤の参照
section:condition.entry:medication/alcimimetics	Reference(JP_MedicationAdministration_Dialysis_Medication)	0..*	投与薬剤／カルシミメティクスの参照
section:condition.entry:medication/iron	Reference(JP_MedicationAdministration_Dialysis_Medication)	0..*	投与薬剤／鉄製剤の参照
section:condition.entry:medication/carnitine	Reference(JP_MedicationAdministration_Dialysis_Medication)	0..*	投与薬剤／カルニチン製剤の参照
section:condition.entry:medication/other	Reference(JP_MedicationAdministration_Dialysis_Medication)	0..*	投与薬剤／その他の薬剤の参照
section:condition.entry:hemodialysis	Reference(JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis)	0..1	血液透析処置の参照
section:condition.entry:VascularAccess	Reference(JP_Procedure_Dialysis_VascularAccess)	0..1	バスキュラーアクセス手術処置の参照
section:condition.entry:lastPta	Reference(JP_Procedure_Dialysis_LastPTA)	0..1	PTA 処置の参照

2. 施設情報

医療施設（プロファイル名: JP_Organization_Dialysis）

[JP_Organization_Dialysis]は、[JP_Organization]を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

施設情報の施設識別子、医療施設名、医療施設住所、医療施設連絡先、担当者連絡先の担当者名、施設連絡先メールアドレスのデータを取り扱う。

施設情報の担当医名、及び担当者連絡先の発信責任者は、医療従事者を参照

表 2-① 医療施設のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
医療施設識別子 医療施設番号	identifier:medicalInstitutionCode	Identifier	0..*	医療施設識別子の医療施設番号 10 桁の保険医療施設番号で、都道府県番号(2 桁) + 点数表コード(1 桁) + 医療機関コード(7 桁) を結合したもの [-.system]に、 URL(http://jpfhir.jp/fhir/core/IdSystem/insurance-medical-institution-no)を指定する。 [-.value]に保険医療施設番号を設定する。
医療施設名 医療施設名	name	string	0..1	医療施設の正式名
医療施設住所 郵便番号 市町村 市町村以降	address	Address	0..*	医療施設の住所 [-.postalCode]に郵便番号を設定する。 [-.city]に市町村名を設定する。 [-.line]に市町村名以降の住所を設定する。
医療施設住所 都道府県コード	extension:prefectureNo	Coding	0..1	都道府県番号を表す 2 桁のコード値 (extension) [-.url]に、 ex[JP_Organization_PrefectureNo]の URI を 指定する。(JP Core ImplementationGuide 参照) [-.valueCoding.system]に都道府県番号を表す OID の URI (urn:oid:1.2.392.100495.20.3.21) を指定 する。 [-.valueCoding.code]に vs[JP_PrefectureNumber_VS]から選択したコー ド値を設定する。

<p>担当者連絡先</p> <p>担当者名</p> <p>施設連絡先メールアドレス</p>	contact	ContactPoint	0..*	<p>担当者連絡先。</p> <p>担当者名がカタカナ表記か漢字表記かは医療施設依存である。</p> <p>担当者名の多重度は、0..1 であるため、どちらかの表記で設定する。</p> <p>カタカナか漢字かは、ex[EN Representation] を利用している。</p> <p>[-.name.extension:nameRepresentationUse.url]に ex[EN Representation]の URL (http://hl7.org/fhir/StructureDefinition/iso-21090-EN-representation) を指定する。</p> <p>カタカナ氏名の場合は、[-.extension.valueCode] に vs [NameRepresentationUse]の#SYL を指定する。</p> <p>漢字氏名の場合は、[-.extension.valueCode] に パリューセット[NameRepresentationUse]の#IDE を指定する。</p> <p>[-.family]に担当者名の姓の部分を設定する。</p> <p>[-.given]に担当者名の名の部分を設定する。</p> <p>姓及び名が複数ある場合は、[-.given]の配列要素として設定する。</p> <p>姓と名が分割困難な場合は、[-.text]のみ設定する。</p> <p>[-.telecom.system]に vs[ContactPointSystem]のコード値#email を指定する。</p> <p>[-.telecom.value]にメールアドレスを設定する。</p>
---	---------	--------------	------	--

医療従事者（プロフィール名: JP_Practitioner_Dialysis）

[JP_Practitioner_Dialysis]は、[JP_Practitioner] を透析情報標準規格で定義された項目、及び項目が取り得るデータを制約するプロフィールである。

施設情報の担当医名、及び施設連絡先の発信責任者名のデータを取り扱う。

表 2-② 医療従事者のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
担当医名 担当医名 担当者連絡先 発信責任者名	name	JP_HumanName	0..2	<p>医療従事者の氏名</p> <p>多重度が 0..2 となっており、カタカナ氏名と漢字氏名の 2 つの name の値を保持する。</p> <p>カタカナ氏名、漢字氏名の分別のために、ex[EN Representation]を利用している。</p> <p>[-.extension:nameRepresentationUse.url]には ex[EN Representation]の URL(http://hl7.org/fhir/StructureDefinition/iso21090-EN-representation)を指定する。</p> <p>カタカナ氏名の場合は、 [-.extension:nameRepresentationUse.valueCode] に vs[NameRepresentationUse]の#SYL を指定する。</p> <p>漢字氏名の場合は、 [-.extension:nameRepresentationUse.valueCode] に vs[NameRepresentationUse]の#IDE を指定する。</p> <p>[-.family]に姓名の姓の部分を設定する。 [-.given]に姓名の名の部分を設定する。 [-.text]にフルネームを設定する。</p>

3. 患者情報

患者（プロファイル名: JP_Patient_Dialysis）

[JP_Patient_Dialysis]は、[JP_Patient] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

患者情報の患者識別子、患者氏名、患者生年月日、患者性別、患者住所、患者電話番号、緊急連絡先のデータを取り扱う。

患者情報の血液型は、血液型 ABO、及び血液型 Rh を参照。

表 3-① 患者のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
患者識別子 医療施設患者 ID 保険者番号 被保険者番号	identifier	Identifier	1..3	<p>患者識別子 患者識別子には、医療施設患者 ID、保険者番号、被保険者番号がある。</p> <p>[<code>-.type.coding.system</code>]には、<code>cs[DialysisPatientIdentifierTypeCS]</code> の URI を設定する。</p> <p>医療施設患者 ID の場合、 [<code>-.type.coding.code</code>]に <code>vs[DialysisPatientIdentifierTypeValueSet]</code> の <code>#facilityPatientID</code> を指定する。</p> <p>保険者番号の場合、 [<code>-.type.coding.code</code>]に <code>vs[DialysisPatientIdentifierTypeValueSet]</code> の <code>#insurerNumber</code> を指定する。</p> <p>被保険者番号の場合、 [<code>-.type.coding.code</code>]に <code>vs[DialysisPatientIdentifierTypeValueSet]</code> の <code>#insuredPersonNumber</code> を指定する。</p> <p>[<code>-.value</code>]に患者識別子の値を文字列で設定する。</p>

患者氏名 姓カタカナ 名カタカナ 姓漢字 名漢字	name	JP_HumanName	0..2	<p>患者の氏名 カタカナ氏名と漢字氏名の2つの name の値を保持する。</p> <p>カタカナ氏名、漢字氏名の分別のために、ex[EN Representation] を利用している。 [-.extension:nameRepresentationUse.url]に ex[EN Representation]の URL (http://hl7.org/fhir/StructureDefinition/iso21090-EN-representation) を指定する。</p> <p>カタカナ氏名の場合は、[-.extension.valueCode] に vs [NameRepresentationUse]の#SYL を指定する。 漢字氏名の場合は、[-.extension.valueCode] にバリューセット [NameRepresentationUse]の#IDE を指定する。</p> <p>[-.family]に姓名の姓の部分を設定する。 [-.given]に姓名の名の部分を設定する。 姓及び名が複数ある場合は、[-.given]の配列要素として設定する。 [-.text]にフルネームを設定する。 姓と名が分割困難な場合は、[-.text]のみ設定する。</p> <p>以下に、[name]を JSON で記述した例を示す。 <pre>{ "name" : [{ "extension" : [{ "url" : "http://hl7.org/fhir/StructureDefinition/iso21090-EN-representation", "valueCode" : "IDE" }], "family" : ["山田","スミス"] "name" : "花子" "text" : "山田 スミス 花子" }]</pre> </p>
患者生年月日 生年月日	birthDate	date	0..1	<p>患者の生年月日</p> <p>[birthDate]に年月日のフォーマット（“YYYY-MM-DD”）で生年月日を設定する。</p>
患者生年月日 年齢	extension:age	unsignedInt	0..1	<p>患者の年齢</p> <p>[-.valueUnsignedInt]に年齢を設定する。</p>
患者性別 患者性別	gender	code	0..1	<p>患者の性別</p> <p>[gender]に vs[AdministrativeGender]から選択したコード値を設定する。 男性は #male、女性は #female を設定する。 それ以外に、その他を表す #other と不明を表す #unknown がある。</p>

患者住所 都道府県コード 市町村 市町村以降	address	Address	0..1	<p>患者の住所</p> <p>都道府県番号には、ex[JP_Organization_PrefectureNo]を利用している。</p> <p>[-.extension:prefectureNo.url]に ex[JP_Organization_PrefectureNo]の URL (http://jpfhir.jp/fhir/core/Extension/StructureDefinition/JP_Organization_PrefectureNo) を指定する。</p> <p>[-.extension:prefectureNo.valueCoding.system]に都道府県番号を表す OID「1.2.392.100495.20.3.21」を指定する。</p> <p>[-.extension:prefectureNo.valueCoding.code]に vs[JP_PrefectureNumber_VS]から選択した都道府県番号 2 桁のコード値を設定する。</p> <p>[-.city]に市町村名を設定する。</p> <p>[-.line]に市町村以降の住所を設定する。</p>
患者電話番号 自宅電話番号 携帯電話番号	telecom	ContactPoint	0..2	<p>患者の連絡関係電話番号（自宅、及び携帯電話）</p> <p>[-.system]に vs[ContactPointSystem]の#phone を設定する。</p> <p>自宅電話の場合、 [-.use]に vs[ContactPointUse]の#home を設定する。</p> <p>携帯電話の場合、 [-.use]に vs[ContactPointUse]の#mobile を設定する。</p> <p>[-.value]に電話番号を文字列で設定する。</p>
緊急連絡先 家族等氏名 患者との間柄 連絡先電話番号	contact	BackboneElement	0..*	<p>患者の家族等の連絡先</p> <p>[-.relationship.coding.system]には、cs[contactRole2]の uri(http://terminology.hl7.org/CodeSystem/v2-0131)を指定する。</p> <p>[-.relationship.coding.code]に vs[PatientContactRelationship]から選択したコード値を設定する。</p> <p>[-.name.family]に姓名の姓を設定する。 [-.name.given]に姓名の名を設定する。</p> <p>[-.telecom.system]に vs[ContactSystem]のコード値#phone を指定する。</p> <p>[-.telecom.value]に電話番号を設定する。</p>

血液型 ABO (プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_BloodTypeABO)

[JP_Observation_Dialysis_BloodTypeABO]は、[JP_Observation_Common] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

患者情報の血液型の血液型 ABO のデータを取り扱う。

患者情報の血液型の血液型 Rh は、血液型 Rh を参照

表 3-② 血液型 ABO の項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
血液型 血液型 ABO	value[x]	CodeableConcept	0..1	<p>血液型 ABO 式の血液型</p> <p>[valueCodeableConcept.system]に JAHIS 標準テーブル JHSC0001(患者プロファイル ABO 血液型)の URI(urn:oid:1.2.392.200270.4.4.1.1)を指定する。 [valueCodeableConcept.code]に vs[DialysisBloodTypeABOVS]から選択したコード値を設定する。 [valueCodeableConcept.display]に vs[DialysisBloodTypeABOVS.Display]を設定する。</p> <p>vs[DialysisBloodTypeABOVS]は、JAHIS 標準テーブルの JHSC0001(患者プロファイル ABO 血液型)から定義した。</p> <p>vs[DialysisBloodTypeABOVS]のコード値、表示値： #A “A 型” #B “B 型” #O “O 型” #AB “AB 型” #U “不明”</p>
	status	Code	1..1	<p>結果値のステータス</p> <p>[status]に vs[ObservationStatus]の#final を指定する。</p>
	code	CodeableConcept	1..1	<p>血液型 ABO のコード値</p> <p>LOINC を仮使用 LOINC#883-9 が血液型 ABO 式のコード値 [-.coding.system]に LOINC の URI(http://loinc.org)を指定する。 [-.coding.version]に“2.71”を指定する。 [-.coding.code]に#883-9 を指定する。 [-.coding.display]に“ABO group [Type] in Blood”を指定する。</p>
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	<p>患者の参照</p> <p>[-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。</p>

血液型 Rh (プロファイル名: JP_Dialysis_BloodTypeRh)

[JP_Dialysis_BloodTypeRh]は、[JP_Observation_Common] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

患者情報の血液型の血液型 Rh のデータを取り扱う。

患者情報の血液型の血液型 ABO は、血液型 ABO を参照。

表 3-③ 血液型 RH の項目

項目名	FHIR 要素名	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
血液型 血液型 Rh	value[x]	CodeableConcept	0..1	<p>血液型 Rh 式の血液型</p> <p>[valueCodeableConcept.system]に JAHIS 標準テーブル JHSC0002(患者プロファイル Rh 血液型)の URI(urn:oid:1.2.392.200270.4.4.1.2)を指定する。 [valueCodeableConcept.code]に vs[DialysisBloodTypeRhVS]から選択したコード値を設定する。 [valueCodeableConcept.display]に選択したコード値の vs[DialysisBloodTypeRhVS.Display]を設定する。</p> <p>vs[DialysisBloodTypeRhVS]は、JAHIS 標準テーブル JHSC0002(患者プロファイル Rh 血液型)から定義した。</p> <p>vs[DialysisBloodTypeRhVS]のコード値、表示値： # + “Rh(+)” # - “Rh(-)” # U “不明”</p>
	status	code	1..1	<p>結果値のステータス</p> <p>[status]に vs[ObservationStatus]の#final を設定する。</p>
	code	CodeableConcept	1..1	<p>血液型 Rh のコード値</p> <p>LOINC を仮使用 LOINC#10331-7 が血液 Rh 式のコード値 [-.coding.system]に LOINC の URI(http://loinc.org)を指定する。 [-.coding.version]に“2.71”を指定する。 [-.coding.code]に#10331-7 を指定する。 [-.coding.display]に“Rh [Type] in Blood”を指定する。</p>
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	<p>患者の参照</p> <p>[-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。</p>

4. 診療情報

透析導入日（プロファイル名: JP_Dialysis_Introduction）

[JP_Dialysis_Introduction]は、[JP_Procedure]を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。
診療情報の透析導入日のデータを取り扱う。

表 4-① 透析導入日のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
透析導入日 透析導入日	performed[x]	dateTime	0..1	透析導入日 [performedDateTime]に透析導入日をフォーマット （"YYYY-MM-DD"）で設定する。
透析導入日 透析導入日に係る コメント	note	Annotation	0..1	透析導入日に係るコメント [.text]に透析導入に係るコメントを設定する。 FHIR データ型は Annotation であるが、文書受信者は、 [.text]を平文として取り扱い、マークダウン表記の影響を受けないように取り扱わなければならない。
	status	code	1..1	透析導入日のデータのステータス [status]に vs[EventStatus]のコード値#completedを指定する。
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	1..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース （[JP_Bundle_Dialysis.entry]）の URI を設定する。 [.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

禁忌薬（プロファイル名: JP_AllergyIntolerance_Dialysis_ContraindicationMedicine）

[JP_AllergyIntolerance_Dialysis_ContraindicationMedicine]は、[JP_AllegryIntolerance] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

診療情報の禁忌薬のデータを取り扱う。

1つのリソースが1つの禁忌薬データを取り扱うため、必要に応じて複数のリソースを作成する。

表 4-② 禁忌薬のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
禁忌薬 禁忌薬	code	CodeableConcept	1..1	<p>医薬品のアレルギー不耐症の識別コードもしくはテキスト</p> <p>禁忌薬のコードが明確な場合 [<code>-.coding.system</code>]に JFAGY アレルゲンコード（医薬品）のコードシステムの URI(http://jpfhir.jp/fhir/core/CodeSystem/JP_JfagyMedicationAllergen_CS)を指定する。 [<code>-.coding.code</code>]に vs[JP_AllergyIntolerance_VS]から選択したコード値を設定する。 [<code>-.coding.display</code>]に選択したコード値の vs[JP_AllergyIntolerance_VS.display]の文字列を設定する。</p> <p>禁忌薬のコードが不明な場合 [<code>-.text</code>]に禁忌薬の記述を設定する。</p>
	category	code	0..1	<p>アレルギーのカテゴリ</p> <p>[<code>category</code>]に vs[AllergyIntoleranceCategory]のコード値#medication を指定する。</p>
	patient	Reference(JP_Patient_Dialysis)	1..1	<p>患者の参照</p> <p>[<code>-.reference</code>]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [<code>-.type</code>]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。</p>

アレルギー（プロファイル名: JP_AllergyIntolerance_Dialysis）

[JP_AllergyIntolerance_Dialysis]は、[JP_AllergyIntolerance] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

診療情報のアレルギーのデータを取り扱う。

1つのリソースが1つのアレルギーデータを取り扱うため、必要に応じて複数のリソースを作成する。

表 4-③ アレルギーのデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
アレルギー アレルギー	code	BackboneElement	1..1	アレルギーに関する記述 アレルギーのコードが明確な場合 [-.coding.code]に vs[JP_AllergyIntolerance_VS]から選択したコード値を設定する。 [-.coding.system]に選択したコード値の vs[JP_AllergyIntolerance_VS.system]の URI を設定する。 [-.coding.display]に選択したコード値の vs[JP_AllergyIntolerance_VS.display]の文字列を設定する。 アレルギーのコードが不明な場合 [-.text]にアレルギーの記述を設定する。
	patient	Reference(JP_Patient_Dialysis)	1..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

ADL (プロフィール名: JP_Observation_Dialysis_ADL)

[JP_Observation_Dialysis_ADL]は、[JP_Observation_Common] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロフィールである。

診療情報の ADL のデータを取り扱う。

表 4-④ ADL のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
ADL ADL	value[x]	CodeableConcept	0..1	ADL の患者移送区分の評価 [valueCodeableConcept.coding.system]に cs[DialysisMobilityCS]の URI を指定する。 [valueCodeableConcept.coding.code]に vs[DialysisMobilityVS]から選択したコード値を設定する。 [valueCodeableConcept.coding.display]に選択したコード値の vs[DialysisMobilityVS.Display]の値を設定する。 vs[DialysisMobilityVS]のコード値、表示値： #carried “担送” #convoy “護送” #unaccompanied “独歩”
	status	code	1..1	ADL 情報の状態 [status]に vs[ObservationStatus]の#final を指定する。
	code	CodeableConcept	1..1	ADL 動作のスコープ [-.coding.system]に cs[DialysisADLCS]の URI を指定する。 [-.coding.code]に vs[DialysisADLVS]のコード値#mobility を指定する。 [-.coding.display]に“移送”を指定する。 vs[DialysisADLVS]には、現在#mobility のみ定義されている。
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

感染症(HBsAg) (プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_HBsAg)

[JP_Observation_Dialysis_HBsAg]は、[JP_Observation_Common] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

診療情報の感染症の感染症(HBsAg)結果、感染症(HBsAg)年月日のデータを取り扱う。

表 4-⑤ 感染症(HBsAg)のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
感染症 感染症(HBsAg)結果	value[x]	string	0..1	感染症(HBsAg)の検査結果 [valueString]に検査結果を設定する。
感染症 感染症(HBsAg)年月 日	effective[x]	dateTime	0..1	感染症(HBsAg)の検査年月日 [effectiveDateTime]に感染症検査年月日を設定する。
	status	code	1..1	検体検査の状態。 [status]に vs[ObservationStatus]の#final を指定する。
	code	CodeableConcept	1..1	感染症(HBsAg)の検体検査を示すコード [-.coding.system]に JALC10 の臨床検査コードを表す OID の URI (urn:oid:1.2.392.200119.4.504) を指定する。 [-.coding.code]に HBsAg の検体検査判定を表す JALC10 コードを指定する。 //JALC10#5F016141002305111 // 項目: 5F016 HBs // 識別: 1410 ウイルス抗原 // 材料: 023 血清 // 測定法: 051 化学・生物発光イムノアッセイ(CLIA) // 結果識別: 11 判定
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

感染症(HBsAb) (プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_HBsAb)

[JP_Observation_Dialysis_HBsAb]は、[JP_Observation_Common] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

診療情報の感染症の感染症(HBsAb)結果、感染症(HBsAb)年月日のデータを取り扱う。

表 4-⑥ 感染症(HBsAb)のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
感染症 感染症(HBsAb)結果	value[x]	string	0..1	感染症(HBsAb)の検査結果 [valueString]に検査結果を設定する。。
感染症 感染症(HBsAb)検査 年月日	effective[x]	dateTime	0..1	感染症(HBsAb)の検査年月日 [effectiveDateTime]に感染症検査年月日を設定する。
	status	code	1..1	検体検査の状態 [status]に vs[ObservationStatus]の#final”を指定する。
	code	CodeableConcept	1..1	感染症(HBsAb)の検体検査を示すコード [-.coding.system]に JALC10 の臨床検査コードを表す OID の URI (urn:oid:1.2.392.200119.4.504) を指定 する。 [-.coding.code]に HBsAb の検体検査判定を表す JLAC10 コードを指定する。 //JLAC10#5F016143002305111 // 項目: 5F016 HBs // 識別: 1430 ウイルス抗体 // 材料: 023 血清 // 測定法: 051 化学・生物発光イムノアッセイ(CLIA) // 結果識別: 11 判定
	subject	Reference(JP_Pati ent_Dialysis)	0..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

感染症(HBcAb) (プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_HBcAb)

[JP_Observation_Dialysis_HBcAb]は、[JP_Observation_Common] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

診療情報の感染症の感染症(HBcAb)結果、感染症(HBcAb)年月日のデータを取り扱う。

表 4-⑦ 感染症(HBcAb)の項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
感染症 感染症(HBcAb)結果	value[x]	string	0..1	感染症(HBcAb)の検査結果 [valueString]に検査結果を設定する。
感染症 感染症(HBcAb)検査年月日	effective[x]	dateTime	0..1	感染症(HBcAb)の検査年月日 [effectiveDateTime]に感染症検査年月日を設定する。
	status	code	1..1	検体検査の状態 [status]に vs[ObservationStatus]の#final”を指定する。
	code	CodeableConcept	1..1	感染症(HBcAb)の検体検査を示すコード [-.coding.system]に JALC10 の臨床検査コードを表す OID の URI (urn:oid:1.2.392.200119.4.504) を指定 する。 [-.coding.code]には、HBcAb の検体検査判定を表す JLAC10 コードを指定する。 //JLAC10#5F018143002305111 // 項目: 5F018 HB ウイルス // 識別: 1430 ウイルス抗体 // 材料: 023 血清 // 測定法: 051 化学・生物発光イムノアッセイ(CLIA) // 結果識別: 11 判定
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

感染症(HBV DNA) (プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_HBVDNA)

[JP_Observation_Dialysis_HBVDNA]は、[JP_Observation_Common] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

診療情報の感染症の感染症(HBV DNA)結果、感染症(HBV DNA)年月日のデータを取り扱う。

表 4-⑧ 感染症(HBV DNA)のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
感染症 感染症(HBV DNA)結果	value[x]	string	0..1	感染症(HBV DNA)の検査結果 [valueString]に検査結果を設定する。
感染症 感染症(HBV DNA)検査年月日	effective[x]	dateTime	0..1	感染症(HBV DNA)の検査年月日 [effectiveDateTime]に感染症検査年月日を設定する。
	status	code	1..1	検体検査の状態 [status]に vs[ObservationStatus]の#final”を指定する。
	code	CodeableConcept	1..1	感染症(HBV DNA)の検体検査を示すコード [-.coding.system]に JALC10 の臨床検査コードを表す OID の URI (urn:oid:1.2.392.200119.4.504) を指定する。 [-.coding.code]には、HBV DNA の検体検査判定を表す JALC10 コードを指定する。 //JLAC10#5F015144102386211 // 項目: 5F015 HB ウイルス // 識別: 1441 ウイルス DNA 定量 // 材料: 023 血清 // 測定法: 862 リアルタイム PCR 法 // 結果識別: 11 判定
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

感染症(HCV Ab) (プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_HCVAb)

[JP_Observation_Dialysis_HCVAb]は、[JP_Observation_Common] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

診療情報の感染症の感染症(HCV Ab)結果、感染症(HCV Ab)年月日のデータを取り扱う。

表 4-⑨ 感染症(HCV Ab)の項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
感染症 感染症(HCV Ab)結果	value[x]	string	0..1	感染症(HCV Ab)の検査結果 [valueString]に検査結果を設定する。
感染症 感染症(HCV Ab)検査年月日	effective[x]	dateTime	0..1	感染症(HCV Ab)の検査年月日 [effectiveDateTime]に感染症検査年月日を設定する。
	status	code	1..1	検体検査の状態 [status]に vs[ObservationStatus]の#final”を指定する。
	code	CodeableConcept	1..1	感染症(HCV Ab)の検体検査を示すコード [-.coding.system]に JALC10 の臨床検査コードを表す OID の URI (urn:oid:1.2.392.200119.4.504) を指定する。 [-.coding.code]には、HCV Ab の検体検査判定を表す JALC10 コードを指定する。 //JALC10#5F360148002305111 // 項目: 5F360 HC ウイルス // 識別: 1480 HC-43/C100-3 抗体 [HCV 抗体 2nd, Abbott] // 材料: 023 血清 // 測定法: 051 化学・生物発光イムノアッセイ(CLIA) // 結果識別: 11 判定
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

感染症(HBV RNA) (プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_HBVRNA)

[JP_Observation_Dialysis_HBVRNA]は、[JP_Observation_Common] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

診療情報の感染症の感染症(HBV RNA)結果、感染症(HBV RNA)年月日のデータを取り扱う。

表 4-⑩ 感染症(HCV RNA)のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
感染症 感染症(HBV RNA)結果	value[x]	string	0..1	感染症(HBV RNA)の検査結果 [valueString]に検査結果を設定する。
感染症 感染症(HBV RNA)検査年月日	effective[x]	dateTime	0..1	感染症(HBV RNA)の検査年月日 [effectiveDateTime]に感染症検査年月日を設定する。
	status	code	1..1	検体検査の状態 [status]に vs[ObservationStatus]の#final”を指定する。
	code	CodeableConcept	1..1	感染症(HCV RNA)の検体検査を示すコード [-.coding.system]に JALC10 の臨床検査コードを表す OID の URI (urn:oid:1.2.392.200119.4.504) を指定する。 [-.coding.code]には、HCV RNA の検体検査判定を表す JALC10 コードを指定する。 // JALC10#5F015145302300011 //項目: 5F015 HB ウイルス // 識別: 1453 ウイルス RNA 定量 // 材料: 023 血清 // 測定法: 000 // 不明のため仮に 000 としている // 結果識別: 11 判定
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

感染症(HIV Ab) (プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_HIVAb)

[JP_Observation_Dialysis_HIVAb]は、[JP_Observation_Common] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

診療情報の感染症の感染症(HIV Ab)結果、感染症(HIV Ab)年月日のデータを取り扱う。

表 4-⑪ 感染症(HIV Ab)のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
感染症 感染症(HIV Ab)結果	value[x]	string	0..1	感染症(HIV Ab)の検査結果 [valueString]に検査結果を設定する。
感染症 感染症(HIV Ab)検査年月日	effective[x]	dateTime	0..1	感染症(HIV Ab)の検査年月日 [effectiveDateTime]に感染症検査年月日を設定する。
	status	code	1..1	検体検査の状態 [status]に vs[ObservationStatus]の#final”を指定する。
	code	CodeableConcept	1..1	感染症(HIV Ab)の検体検査を示すコード [-.coding.system]に JALC10 の臨床検査コードを表す OID の URI (urn:oid:1.2.392.200119.4.504) を指定する。 [-.coding.code]には、HIV Ab の検体検査判定を表す JALC10 コードを指定する。 //JALC10#5F500143002305111 // 項目: 5F500 HIV-1 // 識別: 1430 ウイルス抗体 // 材料: 023 血清 // 測定法: 051 化学・生物発光イムノアッセイ(CLIA) // 結果識別: 11 判定
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	患者の参照先 [-.reference]に患者のリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

糖尿病有無（プロフィール名: JP_Observation_Dialysis_Diabetes）

[JP_Observation_Dialysis_Diabetes]は、[JP_Observation_Common] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロフィールである。
診療情報の糖尿病有無のデータを取り扱う。

表 4-⑫ 糖尿病有無のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
糖尿病有無 糖尿病	value[x]	CodeableConcept	0..1	<p>糖尿病の有無</p> <p>[valueCodeableConcept.coding.system]に cs[ExpandedYesNoIndicator]の URI を指定する。 [valueCodeableConcept.coding.code]に vs[HI7VSYesNoIndicator]から選択したコード値を設定する。 [valueCodeableConcept.coding.display]に選択したコード値の vs[HI7VSYesNoIndicator.display]を設定する。</p> <p>vs[HI7VSYesNoIndicator]のコード値は、#Y、#N の 2 つ。#Y は糖尿病有として、#N は糖尿病なしとする。</p>
	status	Code	1..1	<p>糖尿病有無データの状態</p> <p>[status]に vs[ObservationStatus]の#final”を指定する。</p>
	code	CodeableConcept	1..1	<p>糖尿病有無を識別する検査項目のコード</p> <p>LOINC を仮使用 LOINC# 33248-6 が糖尿病ステータスのコード値 [-.coding.system]に LOINC コードシステムの URI(http://loinc.org) を指定する。 [-.coding.code]にコード値 # 33248-6 を指定する。 [-.coding.display]に“Diabetes status [Identifier]”を指定する。</p>
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	<p>患者の参照</p> <p>[-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。</p>

原疾患（プロファイル名: JP_Condition_Dialysis_PrimaryDisease）

[JP_Condition_Dialysis_PrimaryDisease]は、[JP_Condition] を基に透析情報標準規格の診療情報で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

診療情報の原疾患の原疾患名のデータを取り扱う。

1つのリソースが1つの原疾患データを取り扱うため、必要に応じて複数のリソースを作成する。

表 4-⑬ 原疾患のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
原疾患 原疾患名	Code	CodeableConcept	1..1	原疾患名 [-.text]に原疾患名を設定する。
	Subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

CTR (プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_CTR)

[JP_Observation_Dialysis_CTR]は、[DialysisObseration] を基に透析情報標準規格の診療情報で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

診療情報の CTR の CTR、検査日、透析前後区分のデータを取り扱う。

CTR は最大 5 回までの記録を記載するため、CTR のリソースは最大 5 個作成することができる。

表 4-⑭ CTR のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
CTR CTR	value[x]	Quantity	0..1	CTR 値 [valueQuantity.value]に CTR 値を設定する。 [valueQuantity.unit]に“percent”を指定する。 [valueQuantity.system]に UCUM の URI(http://unitsofmeasure.org)を指定する。 [valueQuantity.code]に“%”を指定する。
CTR 検査日	effective[x]	dateTime	0..1	CTR 検査日 [effectiveDateTime]に CTR 検査日を設定する。
	Status	code	1..1	CTR 検査の状態 [status]に vs[ObservationStatus]のコード値#final を指定する。
	Subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する[-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

5. 透析条件

処置（プロファイル名: JP_Procedure_Dialysis_Treatment）

[JP_Procedure_Dialysis_Treatment]は、[JP_Procedure] を基に透析情報標準規格で定義された処置行為関連の項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

処置は、患者の血液透析の上位の情報であり、毎回の血液透析に関する情報をまとめる。

透析条件情報の発信施設における透析開始日、発信施設における最終透析日のデータを取り扱う。

また、処置が参照するサービスリクエストには、透析条件情報の透析曜日のデータがある。

表 5-① 処置のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
発信施設における透析開始日 発信施設における透析開始日 発信施設における最終透析日 発信施設における最終透析日	performed[x]	Period	0..1	発信施設における透析開始日と最終透析日 [performedPeriod.start]に発信施設における透析開始日時を設定する。 [performedPeriod.end]に発信施設における最終透析日時を設定する。
	basedOn	Reference(JP_ServiceRequest_Dialysis)	0..*	透析曜日を保持するサービスリクエストの参照先 [-.reference]にサービスリクエストのリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pf[JP_ServiceRequest_Dialysis]を指定する。
	status	code	1..1	[status]に、vs[EventStatus]の #completed を指定する。
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	1..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

サービスリクエスト（プロファイル名: JP_ServiceRequest_Dialysis）

[JP_ServiceRequest_Dialysis]は、[ServiceRequest] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。
透析条件の透析曜日のデータを取り扱う。

表 5-② サービスリクエストの項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
透析曜日 透析曜日	occurrence[x]	Timing	0..1	透析を行う曜日 透析曜日をコードで設定する場合は、 [occurrenceTiming.repeat.dayOfWeek]に vs[DaysOfWeek]から 選択したコード値を設定する。 [occurrenceTiming.repeat.dayOfWeek]は、0..* の配列であり、複 数の曜日を設定することができる。 透析曜日を文字列で設定する場合は、 [occurrenceTiming.code.text]に透析曜日を自由に記述する。
	Status	code	1..1	サービスリクエストのステータス [status]に vs[RequestStatus]の#completed を指定する。
	Intent	code	1..1	リクエストの種類 [intent]に vs[RequestIntent]の#order を指定する。
	Subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	1..1	患者の参照先 [-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

血液透析（プロファイル名: JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis）

[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis]は、[JP_Procedure] を基に透析情報標準規格の透析条件で定義された血液透析の項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

血液透析は、処置の下位の医療行為であり、個々の血液透析に関する情報を扱う。

透析条件の抗凝固剤の抗凝固剤、バスキュラーアクセス、穿刺のデータを取り扱う。

血液透析は、使用する装置（データ項目では明示されていない）の設定/実績の属性、ダイアライザに関する情報を参照している。

表 5-③ 血液透析のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
抗凝固剤 抗凝固剤	usedCode:anticoagulant	CodeableConcept	0..1	使用した抗凝固剤 [-.text]に使用した抗凝固剤の内容を設定する。
バスキュラーアクセス 形式	followUp:accessType	CodeableConcept	0..1	バスキュラーアクセスの形式 [-.coding.system]に cs[DialysisHemodialysisFollowUpCS CS]の URI を指定する。 [-.coding.code]に vs[DialysisHemodialysisFollowUpCS VS]の #type を指定する。 [-.coding.display]に“バスキュラーアクセス形式” を指定する。 [-.extension:content.url]に ex[DialysisFollowUpStringExtension]の URI を指定する。 [-.extension:content.valueString]にバスキュ ラーアクセスの形式の内容を設定する。
バスキュラーアクセス 場所 1	followUp:accessPlace1	CodeableConcept	0..1	バスキュラーアクセスの場所 1 [-.coding.system]に cs[DialysisHemodialysisFollowUpCS CS]の URI を指定する。 [-.coding.code]に vs[DialysisHemodialysisFollowUpCS VS]の #place1 を指定する。 [-.coding.display]に“バスキュラーアクセス: 場所 1”を指定する。 [-.extension:content.url]に ex[DialysisFollowUpStringExtension]の URI を指定する。 [-.extension:content.valueString]にバスキュ ラーアクセスの場所 1 の内容を設定する。

バスキュラーアクセス 場所 2	followUp:accessPlace2	CodeableConcept	0..1	<p>バスキュラーアクセスの場所 2</p> <p>[-.coding.system]に cs[DialysisHemodialysisFollowUpCS CS]の URI を指定する。 [-.coding.code]に vs[DialysisHemodialysisFollowUpCS VS]の #place2 を指定する。 [-.coding.display]に“バスキュラーアクセス: 場所 2”を指定する。</p> <p>[-.extension:content.url]に ex[DialysisFollowUpStringExtension]の URI を指定する。 [-.extension:content.valueString]にバスキュ ラーアクセスの場所 2 の内容を設定する。</p>
穿刺 穿刺針 A 側	followUp:punctureA	CodeableConcept	0..1	<p>穿刺針 A 側</p> <p>[-.coding.system]に cs[DialysisHemodialysisFollowUpCS CS]の URI を指定する。 [-.coding.code]に vs[DialysisHemodialysisFollowUpCS VS]の #a を指定する。 [-.coding.display]に“穿刺 A 側”を指定する。</p> <p>[-.extension:content.url]に ex[DialysisFollowUpStringExtension]の URI を指定する。 [-.extension:content.valueString]に穿刺 A 側の内容を設定する。</p>
穿刺 穿刺針 V 側	followUp:punctureV	CodeableConcept	0..1	<p>穿刺針 V 側</p> <p>[-.coding.system]に cs[DialysisHemodialysisFollowUpCS CS]の URI を指定する。 [-.coding.code]に vs[DialysisHemodialysisFollowUpCS VS]の #v を指定する。 [-.coding.display]に“穿刺 V 側”を指定する。</p> <p>[-.extension:content.url]に ex[DialysisFollowUpStringExtension]の URI を指定する。 [-.extension:content.valueString]に穿刺 V 側の内容を設定する。</p>

穿刺 穿刺に関する申し送り	followUp:punctureTransfer	CodeableConcept	0..1	<p>穿刺に関する申し送り</p> <p>[-.coding.system]に cs[DialysisHemodialysisFollowUpCS CS]の URI を指定する。 [-.coding.code]に vs[DialysisHemodialysisFollowUpCS VS]の #transfer を指定する。 [-.coding.display]に“穿刺に関する申し送り事 項”を指定する。</p> <p>[-.extension:content.url]に ex[DialysisFollowUpStringExtension]の URI を指定する。 [-.extension:content.valueString]に穿刺に 関する申し送りの内容を設定する。</p>
	partOf	Reference(JP_Procedure_Dialysis_Treatment)	0..1	<p>血液透析が属するの処置の参照</p> <p>[-.reference]に上位の処置のリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定 する。 [-.type]に pr[JP_Procedure_Dialysis_Treatment]の URI を指定する。</p>
	status	Code	1..1	<p>血液透析の状態</p> <p>[status]に vs[EventStatus]の#completed を 指定する。</p>
	code	CodeableConcept	0..1	<p>血液透析の処置のコード</p> <p>[-.text]に“血液透析”を指定する。</p> <p>仮にコードに ICD-9-CM を使用する場合、 [-.coding.system]に ICD-9-CM の URI(urn:oid:2.16.840.1.113883.6.2)を指 定する。 [-.coding.code]に#3995 を指定する。 [-.coding.display]に“血液透析”を指定する。</p> <p>※JP_Procedure の [-.coding:medical.system]は、 cs[JP_ProcedureCodesMedical_CS]を指 定している。血液透析のコードがある場合は、そ のコードを用いる。</p>
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	1..1	<p>患者の参照</p> <p>[-.reference]に患者のリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定 する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を 指定する。</p>

	focalDevice	BackbornElement	0..1	<p>血液透析装置の参照</p> <p>[-.manipulated.reference]に血液透析装置のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。</p> <p>[-.type]に pf[JP_Device_Dialysis]の URI を指定する。</p>
	usedReference:dialyzer	Reference(JP_Device_Dialysis)	0..1	<p>ダイアライザの参照</p> <p>[-.reference]にダイアライザのリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。</p> <p>[-.type]に pf[JP_Device_Dialysis]の URI を指定する。</p>

バスキュラーアクセス手術（プロファイル名: JP_Procedure_Dialysis_VascularAccess）

[JP_Procedure_Dialysis_VascularAccess]バスキュラーアクセス手術は、[JP_Procedure] を基に透析情報標準規格の透析条件で定義されたバスキュラーアクセス手術日の項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

バスキュラーアクセス手術は、血液透析を構成する下位の医療行為である。

透析条件のバスキュラーアクセス手術日のデータを取り扱う。

表 5-④ バスキュラーアクセス手術のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
バスキュラーアクセス手術日 バスキュラーアクセス手術日	performed[x]	dateTime	0..1	バスキュラーアクセス手術を行った日時 [performedDateTime]にバスキュラーアクセス手術を行った日時を設定する。
	partOf	Reference(JP_Procedure_Dialysis_Treatment)	0..*	バスキュラーアクセス手術が属する処置の参照 [-.reference]に血液透析のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Procedure_Dialysis_Treatment]の URI を指定する。
	status	code	1..1	バスキュラーアクセス手術の状態 [status]に、vs[EventStatus]の#completed を指定する。
	code	CodeableConcept	0..1	バスキュラーアクセス手術の処置コード [-.text]に”バスキュラーアクセス手術”を指定する。 仮にコードに ICD-9-CM を使用する場合、 [-.coding.system]に ICD-9-CM の URI(urn:oid:2.16.840.1.113883.6.2)を指定する。 [-.coding.code]に#3927 を指定する。 [-.coding.display]に”バスキュラーアクセス手術”を指定する。 ※JP_Procedure の [-.coding:medical.system]は、 cs[JP_ProcedureCodesMedical_CS]を指定しており、ここにシ バスキュラーアクセス手術のコードがある場合は、そのコードに使用する。
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	1..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

最終 PTA (プロファイル名: JP_Procedure_Dialysis_LastPTA)

[JP_Procedure_Dialysis_LastPTA]は、[JP_Procedure] を基に透析情報標準規格の透析条件で定義された最終 PTA の項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

最終 PTA は、血液透析の下位の医療行為である。

透析条件の最終 PTA のデータを取り扱う。

表 5-⑤ 最終 PTA のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
最終 PTA 最終 PTA	performed[x]	dateTime	0..1	最終 PTA の実施日 [performedDateTime]に最新の PTA 術を行った日を設定する。
	partOf	Reference(JP_Procedure_Dialysis_Treatment)	0..1	PTA が属する処置の参照 [-.reference]に血液透析のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Procedure_Dialysis_Treatment]の URI を指定する。
	status	code	1..1	PTA の状態 [status]に、vs[EventStatus]の#completed を指定する。
	code	CodeableConcept	0..1	PTA の処置コード [-.text]に“PTA”を指定する。 仮にコードに ICD-9-CM を使用する場合、 [-.coding.system]に ICD-9-CM の URI(urn:oid:2.16.840.1.113883.6.2)を指定する。 [-.coding.code]に#3949 を指定する。 [-.coding.display]に“PTA”を指定する。 ※JP_Procedure の [-.coding:medical.system]は、 cs[JP_ProcedureCodesMedical_CS]を指定。ここに PTA の コードがある場合は、そのコードに変更する。
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	1..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

投与薬剤（プロファイル名: JP_MedicationAdministration_Dialysis_Medication）

[JP_MedicationAdministration_Dialysis_Medication]は、[JP_MedicationAdministration]を基に透析情報標準規格の透析条件で定義された投与薬剤の項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

透析条件の投与薬剤のデータを取り扱う。

1つのリソースが1つの投与薬剤データを取り扱うため、必要に応じて複数のリソースを作成する。

表 5-⑥ 投与薬剤のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
投与薬剤 ESA ビタミン D 製剤 カルシメテックス 鉄製剤 カルニチン製剤 その他	medication[x]:medicationCodeableConcept	CodeableConcept	0..*	<p>投与薬剤のコード</p> <p>[-.coding.code]に vs[JP_MedicationCode_VS]から 選択したコード値を設定する。 [-.coding.system]に選択したコード値の vs[JP_MedicationCode_VS.System]の URI を設定する。 [-.coding.display]に選択したコード値の vs[JP_MedicationCode_VS.Display]の文字列を設定する。</p> <p>投与薬剤が 6 種類のいずれのデータ 細目のリソースになるかは [extension:medicationCategory] のコード値により分類される。</p>

	extension:medicationCategory	CodeableConcept	1..1	<p>投与薬剤の分類コード</p> <p>投与薬剤を ESA、ビタミン D 製剤、カルシメティクス、鉄製剤、カルニチン製剤、その他の 6 種に分類する。</p> <p>[-.url]に ex[DialysisMedicationCategory]を指定する。</p> <p>[-.valueCodeableConcept.coding.system]に cs[DialysisMedicationCategory]を指定する。</p> <p>[-.valueCodeableConcept.coding.code]に vs[DialysisMedicationCategoryVS]から選択したコード値を設定する。</p> <p>[-.valueCodeableConcept.coding.display]に選択したコードの vs[DialysisMedicationCategoryVS.Display]の文字列を設定する。</p> <p>vs[DialysisMedicationCategoryVS]のコード値、表示値。 #esa “ESA” #vitaminD “ビタミン D 製剤” #calcimimetics “カルシメティクス” #iron “鉄製剤” #carnitine “カルニチン製剤” #other “その他”</p>
	identifier	Identifier	2..*	<p>処方オーダーに対する ID(MedicationRequest からの継承)</p> <p>JP_MedicationAdministration で定義されている必須要素でカーディナリティが 2 つ以上</p> <p>詳細は JP Core ImplementationGuide を参照</p>
	partOf	Reference(JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis)	0..1	<p>投与薬剤が属する血液透析の参照</p> <p>[-.reference]に血液のリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。</p> <p>[-.type]に pr[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis]の URI を指定する。</p>
	status	Code	1..1	<p>投与薬剤の状態</p> <p>[status]に vs[EventStatus]の #completed を指定する。</p>

	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	1..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])のURIを設定する。 [-.type]にpr[JP_Patient_Dialysis]のURIを指定する。
--	---------	--------------------------------	------	--

前回終了時体重（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_LastBodyWeight）

[JP_Observation_Dialysis_LastBodyWeight]は、[JP_Observation_Common]を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。
透析条件の前回終了時体重のデータを取り扱う。

表 5-⑦ 前回終了時体重のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
前回終了時体重 前回終了時体重	value[x]	Quantity	0..1	前回終了時の体重 [valueQuantity.value]に体重を設定する。 [valueQuantity.unit]に“kiroglam”を指定する。 [valueQuantity.system]に UCUM の URI(http://unitsofmeasure.org)を指定する。 [valueQuantity.code]に“kg”を指定する。
	status	code	1..1	前回終了時体重の状態 [status]に vs[ObservationStatus]のコード値#final を指定する。
	code	CodeableConcept	1..1	体重計測値を表すコード LOINC を仮使用 LOINC#3141-9 が体重計測値のコード値 [-.coding.system]に LOINC の URI(http://loinc.org)を指定する。 [-.coding.code]に#3141-9 を指定する。 [-.coding.display]に“Body weight Measured”を指定する。
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])のURIを設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]のURIを指定する。
	effective[x]	dateTime	0..1	体重計測日 [effectiveDateTime]に体重を計測した日を設定する。

透析機器（プロファイル名： JP_Device_Dialysis）

[JP_Device_Dialysis]は、[Device] を基に透析情報標準規格の透析条件で定義され透析装置、及びダイアライザの項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

透析機器がダイアライザの場合、ダイアライザ（の名称）のデータを取り扱う。

透析機器が透析装置の場合、透析装置のパラメータのデータを取り扱う。

抗凝固剤の抗凝固剤は、血液透析の要素にあるので血液透析を参照。

表 5-⑧ 透析機器のデータ項目

項目名	FHIR 要素名	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
透析時間 透析時間	property:dialysisTime	BackboneElement	0..1	<p>透析時間</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#TC-C1 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“透析時間”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に透析時間を設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“minure”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に#min を指定する。</p>
透析形式 透析形式	property:dialysisMode	BackboneElement	0..1	<p>透析形式</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#TC-B3 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“透析形式”を指定する。</p> <p>[-.valueCode.coding.system]に cs[DialysisModeCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.valueCode.coding.code]に vs[DialysisModeVS]から選択したコード値を設定する。</p> <p>[-.valueCode.coding.display]に選択したコード値の表示値を指定する。</p> <p>vs[DialysisModeVS]のコード値、表示値</p> <p>#0 “HD”</p> <p>#1 “ECUM”</p> <p>#2 “HDF”</p> <p>#3 “HF”</p> <p>#4 “OHDF(オンライン HDF)”</p> <p>#5 “I-HDF”</p> <p>#6 “O/I-HDF(オンライン I-HDF)”</p> <p>#7 “予備（未使用）”</p>

補液モード	property:replacementMode	BackboneElement	0..1	<p>補液モード(補液選択)</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#TC-D1 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“補液モード”を指定する。</p> <p>[-.valueCode.coding.system]に cs[DialysisModeCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.valueCode.coding.code]に vs[DialysisReplacementModeVS]から選択したコード値を設定する。</p> <p>[-.valueCode.coding.display]に選択したコード値の表示値を指定する。</p> <p>vs[DialysisReplacementModeVS]のコード値、表示値 #0 “前補液” #1 “後補液”</p>
透析液流量 透析液流量	property:dialysisFlowRate	BackboneElement	0..1	<p>透析液流量</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#TC-D7 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“透析液流量”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に透析液流量を設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“milliliter per minute”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に# mL/min を指定する。</p>

血流量 血流量	property:bloodFlowRate	BackboneElement	0..1	<p>血流量</p> <p>[-type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#TC-D6を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“血流量”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に血流量を設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“milliliter per minute”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に# mL/min を指定する。</p>
目標補液量 目標補液量	property:replacementVolume	BackboneElement	0..1	<p>目標補液量</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#T1 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“目標補液量”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に目標補液量を設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“liter”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に# L を指定する。</p>
補液速度 補液速度	property:replenishmentRate	BackboneElement	0..1	<p>補液速度</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#TC-C7 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“補液速度”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に補液速度を設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“liter per hour”、もしくは“milliliter per minute”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に# L/h、もしくは# ml/min を指定する。</p>

ダイアライザ ダイアライザ	deviceName	BackboneElement	0..*	<p>ダイアライザの名前</p> <p>[-.name]にダイアライザ名を設定する。</p> <p>[-.type]に vs[DeviceNameType]から選択したコード値を設定する。</p>
DW (ドライウェイト) DW (ドライウェイト)	property:dw	BackboneElement	0..1	<p>DW(ドライウェイト)</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#TC-D3 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“DW”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に DW を設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“kilogram”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に#kg を指定する。</p>
透析液 透析液	property:dialysisFluid	BackboneElement	0..1	<p>透析液</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#T2 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“透析液”を指定する。</p> <p>[-.valueCode.text]に透析液の名称を設定する。</p> <p>以降は透析液を含んだ適切なコードシステムを適用する、もしくは新たに透析液がコード化された場合、[-.valueCode.coding.system]に[透析液などのコードを含んだコードシステム]の URI を指定する。</p> <p>[-.valueCode.coding.code]に vs[透析液などのコードを含んだバリュースセット]から選択したコード値を設定する。</p> <p>[-.valueCode.coding.display]に選択したコード値の表示値を指定する。</p>

抗凝固剤 初回量	property:anticoagulantInitial	BackboneElement	0..1	<p>抗凝固剤の初回量</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#TC-D4 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“抗凝固剤初回量”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に抗凝固剤の初回量を整数で設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“milligram”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に#mg を指定する。</p>
抗凝固剤 持続量	property:anticoaguDuration	BackboneElement	0..1	<p>抗凝固剤の持続量</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#TC-C8 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“抗凝固剤持続量”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に抗凝固剤の持続量を設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“milligram per hour”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に#mg/h を指定する。</p>
抗凝固剤 総量	property:anticoaguTotal	BackboneElement	0..1	<p>抗凝固剤の総量</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#T3 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“抗凝固剤総量”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に抗凝固剤の総量を設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“milligram”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に#mg を指定する。</p>

抗凝固剤 事前停止	property:anticoaguPreStop	BackboneElement	0..1	<p>抗凝固剤の事前停止</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#TC-D5を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“抗凝固剤事前停止”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に抗凝固剤の事前停止を整数で設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“minute”を整数で指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に#min を指定する。</p>
除水 除水速度上限 ml/時	property:ultrafiltrationRateMax	BackboneElement	0..1	<p>除水速度上限</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#TC-C4 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“除水速度上限”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に除水速度上限を整数部 1 桁小数部 2 桁で設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“milliliter per hour”を整数で指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に#mL/h を指定する。</p>

除水 除水パターン	property:ultrafiltrationPattern	BackboneElement	0..1	<p>除水パターン</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#T4 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“除水パターン”を指定する。</p> <p>[-.valueCode.text]に除水パターン名を設定する。</p> <p>以降は、除水パターンがコード化された場合、</p> <p>[-.valueCode.coding.system]に[除水パターンのコードを含んだコードシステム]の URI を指定する。</p> <p>[-.valueCode.coding.code]に vs[除水パターンのコードを含んだバリューセット]から選択したコード値を設定する。</p> <p>[-.valueCode.coding.display]に選択したコード値の表示値を指定する。</p>
除水 除水時間	property:ultrafiltrationTime	BackboneElement	0..1	<p>除水時間</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#TC-C2 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“除水時間”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に除水時間を整数で設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“minute”を整数で指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に#min を指定する。</p>

除水 除水量上限	property:ultrafiltrationVol Max	BackboneElement	0..1	<p>除水量上限</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定 する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#TC-C3 を 指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“除水量上限”を指定 する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に除水量上限を整数 で設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“liter”を整数で指定す る。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に#Lを指定する。</p>
静脈圧 静脈圧	property:vp	BackboneElement	0..1	<p>静脈圧</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定 する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#T5 を指定 する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“静脈圧”を指定す る。</p> <p>[-.valueQuantity:min.value]に静脈圧の範囲 の下限值を設定する。</p> <p>[-.valueQuantity:max.value]に静脈圧の範囲 の上限値を設定する。</p> <p>単位は mmHg であるが UCUM では定義が不 明。</p> <p>[-.valueQuantity]を使用せず、 [-.valueCode.text]に文字列で静脈圧を設定す ることも可。</p>

透析液圧 透析液圧	property:dialysatePressure	BackboneElement	0..1	<p>透析液圧</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#T6 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“透析液圧”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value:min]に透析液圧の範囲の上限を設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value:max]に透析液圧の範囲の下限を設定する。</p> <p>[-.valueQuantity]を使用せず、 [-.valueCode.text]に文字列で透析液圧を設定することも可</p>
透析温度 透析温度	property:dialysisTemp	BackboneElement	0..1	<p>透析温度</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#TC-C9 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“透析温度”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に透析温度を整数部 2 桁、小数部 1 桁で設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“degree Celsius”を整数で指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に#Cel を指定する。</p>
補足事項 補足事項	property:supplement	BackboneElement	0..1	<p>補足事項</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#CM-DB を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“補足事項”を指定する。</p> <p>[-.valueCode.text]に補足事項を設定する。</p>

実績除水量 実績除水量	property:actualUltrafiltrationVol	BackboneElement	0..1	<p>実績除水量</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#MS-CB を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“実績除水量”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に実績除水量を設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“liter”を整数で指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に#L を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity]を使用せず、 [-.valueCode.text]に文字列で実績除水量を設定することも可。</p>
実績補液量 実績補液量	property:actualReplacementVol	BackboneElement	0..1	<p>実績補液量</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#MC-CP を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“実績補液量”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に実績補液量を設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“liter”を整数で指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に#L を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity]を使用せず、 [-.valueCode.text]に文字列で実績補液量を設定することも可。</p>

透析最終実施日 透析最終実施日	property:dialysisLastDate	BackboneElement	0..1	<p>透析最終実施日</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[DialysisDevicePropertyCS]の URI を指定 する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[DialysisDevicePropertyVS]の#T8 を指定 する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“透析最終実施日”を 指定する。</p> <p>[-.valueCode.text]に透析最終実施日を設定す る。</p>
--------------------	---------------------------	-----------------	------	--